

平成27年度第3回大東市総合教育会議 会議録

1. 開催日時 平成27年12月25日（金）午後1時00分

2. 開催場所 大東市役所 委員会室

3. 出席者（5人）

- ・大東市長 東坂浩一
- ・教育長 亀岡治義
- ・教育委員 花田真理子
- ・教育委員 田中佐知子
- ・教育委員 水野達朗

4. 事務方出席者（11人）

説明員

- ・学校教育部長兼総括次長兼教育政策室長 品川知寛
- ・学校教育部指導監 松下佳司
- ・生涯学習部長 南田隆司
- ・学校教育部教育政策室課長 藤原成典
- ・学校教育部教育政策室課長 澤邊正人
- ・学校教育部教育政策室課長参事兼教育研究所所長 宮田典子
- ・地方創生局長兼政策推進部総括次長兼戦略室長 東克宏
- ・政策推進部戦略室主査 渡邊達二

事務局

- ・政策推進部長 野田一之
- ・政策推進部企画経営課長 野村政弘
- ・政策推進部企画経営課 上野太嗣

5. 案件

- ・大東市教育大綱（最終案）について

6. 配布資料

- ・次第
- ・大東市教育大綱（最終案）

7. その他

傍聴者 3名

8. 発言要旨（協議または調整が行われた事項およびその内容）

事務局	<p>皆様、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、これより第3回大東市総合教育会議を開催いたします。私は、本日の司会を務めます政策推進部企画経営課の野村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。この会議は、市長と教育委員会が十分な意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して、本市の教育行政に取り組むために開催するものでございます。</p> <p>また、本日は3名の傍聴者がおられます。申し込みは4名の方からございましたが、まだ1名来られていないため、現在3名の方が傍聴されております。地方教育行政の組織及び運営に関する法律、第1条の4第6項に、本会議の公開に関する規定がございますので、傍聴を認めさせていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>では、開会に当たりまして、東坂市長からご挨拶申し上げます。</p>
東坂市長	<p>みなさん、こんにちは。本日は、大変ご多忙の中、本総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、本日、傍聴いただいている皆様方にも、本市の教育行政への高い関心に心より敬意を表するとともに、今後とも本市の教育行政の見守りをお願いしたいと思うところでございます。</p> <p>さて、司会の方からもありましたように、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の4月1日付での改正に伴いまして、本市でも総合教育会議を市長が主催し、招集するという形で、本日第3回目を迎えたところでございます。また、その法の精神の中において、教育大綱という教育に対する大きな背骨作りをし、その背骨にしっかり肉付けのある市教育を推進していく、力強く進んでいく、こういった趣旨がございます。それに伴いまして、本年5月、また9月に第1回、第2回と総合教育会議を重ねてまいりました。その、教育行政の骨子たる大綱の最終案を、本日皆様のご意見を頂戴し、まとめてまいるという段階にまいりました。そもそも、本市におきましては、法改正以前より、市長部局と教育部局の中で意見交換の仕組み作りがなされており、それに法が追いついてきたなど、こういう実感があったところではございますけれど、その法の精神と本市が取り組んできた大きな流れに齟齬はございません。今後とも、本市の取り組んでまいりました教育行政に対しまして、力強く、皆様のご理解のもと、邁進ができるよう、是非ともご協力を賜りたいところでございます。そのためにも、この大綱の策定が一にも二にも重要なところでございまして、この大綱を基に、これまで重ねてきた議論が、しっかりと現実化することを望むところでございます。</p> <p>また、総合教育会議そのものが、大綱作りの会議とならないように、この大綱を急いで策定するということの意義というものを、改めて委員の皆様方と認識を共にし、そして大綱が出来上がった中で、この総合教育会議が次の段階へしっかりと発展するものになること、このことを是非、皆様方と認識を共有していきたいと考えているところでございます。そのためにも、策定を一日も早くという思いもござい</p>

事務局	<p>ます。また、拙速になるあまり、中身の議論が不足することの危惧もしております。この、どちらもしっかりと備えた本日の大綱の最終案に対しましての、皆様方の意見を賜りますことを心よりお願いを申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、本教育大綱の経過についてご報告をさせていただきたいと思っております。前回、第2回の総合教育会議を9月11日に開催させていただき、頂戴しましたご意見を反映させた素案について、10月14日～11月4日にかけて、パブリックコメント制度による意見募集を行いました。ただ、この意見募集においては、ご意見の提出はありませんでした。</p> <p>また、10月13日に開催されました、大東市議会合同委員会報告会におきまして、全議員に対し教育政策室より、ご説明をさせていただいております。当報告会におきましては、教育大綱についての質疑等は多く頂戴いたしましたが、大綱の内容自体について、修正等の検討が必要なご意見はございませんでした。</p> <p>以上が、第2回の会議から今回の会議に至るまでの経過でございます。</p> <p>では、進めてまいります。大東市総合教育会議運営要綱の規定によりまして、議長は東坂市長に務めていただきます。それでは、市長、進行をよろしく願いいたします。</p>
東坂市長	<p>それでは、本日の議題であります大東市教育大綱（最終案）についての議論に入りたいと思いますが、まず、この最終案に対しての事務局よりの説明を求めたいと思います。事務局よろしく願いします。</p>
事務局	<p>【大東市教育大綱（最終案）の説明】</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。本会議におきまして、約7ヶ月間に渡りまして、議論がございました。そして、前回の素案ができました時点で、委員の皆様方のご意見を拝聴いたしまして、過不足なく今回はその意見が反映された最終案が出てきたという風に感じます。事務局、大変ご苦労様でございました。</p> <p>それでは、全体を通してとなりますと、混乱をいたしますので、少しずつテーマを絞ってご意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、まず、「はじめに」のページでございます。ここについてのご意見から頂戴したいと思いますので、ご意見ございましたら、よろしく願いいたします。なお、「私は」という主体者を明確にしたということが、前回からの大きな変化でございまして、これは法の趣旨、大綱の趣旨、こういったものを反映して、市長が策定した大綱であるということを強く位置付ける意味がございまして、その辺りも踏まえまして、一読の上、ご意見を頂戴したいと思います。よろしく願いします。</p>

花田委員	<p>はじめに、色々手直しをしていただいて分かり易くなったことを感謝申し上げます。「はじめに」のところですが、主語を明確にさせていただいたことが、この大綱の意味をはっきりさせることになり、とても良かったと思います。</p> <p>とても小さいことなのですが、子どもたちが、その後に、学んだ成果を地域で生かし、良さを伝えていく大人へと成長できるという意味であれば、下から2行目の「子どもたちが」の後に読点を入れるべきなのではないかと思います。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。今の委員のご指摘はですね、子どもたち自身がその成果を生かすのか、子どもたち全体が学んだことを地域全体で生かしていくのか、これが読点の位置によって、文脈が変わるというご指摘かと思います。</p> <p>事務局より、前回の会議を通じて、まとめていただいた時の趣旨はどちらにあったかの説明をいただいた後に、少し議論したいと思います。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>この部分につきましては、大東市で学んだ成果を子どもたちが生かしていくということでございますので、大東市で教育を受けた子どもたちが、それを生かして将来に渡って、地域に還元していくという意味合いでございます。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。そういうことであれば、私の本意に沿うものでございますので、その意味をもって、この最終の段落をまとめ上げたいと思います。であれば、読点を花田委員、どうすべきでしょうか。</p>
花田委員	<p>とすると、「地域で生かし」の後の読点は不要であると思います。</p>
東坂市長	<p>「子どもたちが」の後に読点を加え、「地域で生かし」の後の読点は削除するというのでいいですか。</p>
花田委員	<p>はい。</p>
東坂市長	<p>この変更については、他の委員の皆様もよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
東坂市長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。他にございませんでしょうか。</p>
東坂市長	<p>ご意見ないようでございますので、目次以降のご意見を頂戴したいと思います。1ページ目でございます。特にこのイメージ図につきましては、前回色々のご意見がございまして、大変分かりやすいものに整理をいただいたかと思います。最後に、事務局よりご説明ありましたが、教育振興基本計画に対しましては、本市から何か</p>

	<p>発信することがないということで、一方通行の矢印になっております。下段の3つの計画に対する矢印につきましては、今回はそれぞれに矢印が向いていたものを、3つを一本化させていただいて、図示として分かり易いものとなるよう修正をさせていただきます。第1. の文章や文言も含めまして、ご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>1ページ目につきましては、これでよろしいでしょうか。</p>
委員一同	異議なし。
東坂市長	<p>では、第2. および第3. の表記があります、2ページ目についてご意見をいただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。</p> <p>この部分についても、前回色々な意見をいただき、その表現の曖昧さに対する指摘があったわけですが、それを修正し、ご意見を反映したものとなっています。それでは、ご意見もないようなので、次のページへ移りたいと思っております。</p>
東坂市長	第4. 重点大綱について、ご意見をいただければと思っております。
水野委員	<p>前回の会議において、家庭の躰と申しますか、学力向上の場だけではないというニュアンスを含めていただければ良いのではないかとお話しさせていただきましたが、正に、そこが上手く表現されているなと思っておりました。ですので、私としてはこの形が良いと思っております。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。本市においては、教育という概念を学校教育に偏ることなく、家庭、学校、地域のバランスのとれた教育環境を目指すという趣旨がここで誤解を受けないようにとのご意見を頂戴し、そのご意見を反映しているところでございます。</p>
亀岡教育長	<p>ここは2回目の会議までの積み上げがなされていると思っております。特段、文言の修正もございませんし、今、水野委員も仰ったように、重点1の中で、学校教育の根幹、学校、家庭、地域の担い分けについて明確に表現しておりますので、分かり易くなったと思っております。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。教育大綱は、総花的になって、ポイントがぼけることがあってはなりませんので、その辺りにも配慮いただいた最終案になっていると思っております。</p>
東坂市長	それでは、最終の第5. ならびに全体を通して、何かご意見があれば、お願いいたします。

花田委員	<p>内容や構成については、素晴らしいと思います。2点お伺いしたいことがあります。1点目は、第5. の主な取組について、この内容が実施計画の内容であることの説明があった方が良くと思います。主な取組の内容が実施計画の内容と考えて良いでしょうか。</p>
東坂市長	<p>まず、その点について、事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第5. の重点大綱達成のための主な取組につきましては、これらを列記することによって、これらの一つひとつの具体的な取組・事業のこれから展開について、実施計画を別途作成いたします。実施計画については、平成28年度からの、年度単位での事業計画でございます。そこには、事業実施に伴う予算や、他部局と調整が必要な部分がございますので、その辺りがしっかり固まってから、教育委員会の方でご議論をさせていただきたいと思っております。</p>
花田委員	<p>前回、実施計画（未定稿）をいただき、重点項目の①や②などに沿った形の実施計画を見せていただきましたが、1ページ目の実施計画が、4ページ目の重点大綱達成のための主な取組とリンクしているということが分かるような表現にされてはどうかという意見でございます。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。この主な取組は、重点大綱を受けてのブレイクダウンだという位置付けであると思います。この取組に沿って、実施計画を策定していくということを、この第5. の重点大綱達成のための主な取組というタイトルの後に、その趣旨を表記することで、取組と実施計画との関連が明確になろうかと思えます。「この取組に沿った実施計画を策定するものとする」といったような、文言を挿入いただきたいと思います。</p> <p>委員の皆様、それでよろしいでしょうか。</p>
亀岡教育長	<p>よろしいでしょうか。今、仰った内容が1ページの、上段の最後の段落に出てまいります。この表現で読み取れないものでしょうか。</p>
東坂市長	<p>第1. については大綱の流れ・骨子を説明している文章です。それぞれ、基本大綱、重点大綱と表記する中で、最終、主な取組、このことが実施計画に繋がるということを、再度、第5. で表記いただく方が、読み手にとっても分かり易いと思えますし、主体者にとっても分かり易い、ましてや教育を受ける側にとっても分かり易いと思えます。私としては、追記すべきだと思いますが、委員の皆様のご意見いかがでしょうか。田中委員いかがですか。</p>
田中委員	<p>第5. の取組について、どうしていくのかというところが見えにくいといえれば見</p>

	<p>えにくいと感じます。この取組を具体的にどうしていくのかが簡単でもいいので、どこかに表記されていればいいと思います。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございます。亀岡教育長よろしいでしょうか。</p>
亀岡教育長	<p>追記するのは、より説明を深めるということですので、あってもいいと思います。</p>
花田委員	<p>内容ではないのですが、このイメージ図等はこのカラーで発表されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>見易さを考えてカラーとさせていただいておりますが、色合等について、ご意見があれば変更させていただきます。</p>
花田委員	<p>とてもセンスの良い色だとは思いますが、例えば、このオレンジを使っておられるのは何か意味がありますか。</p>
事務局	<p>特にはございません。</p>
花田委員	<p>ユニバーサルデザインの観点から、色弱の方にとっては、赤と緑が見にくいということがあります。もし、こだわりがなければ、この色を再考いただけるとありがたいです。また、第4. と第5. の小タイトルについても、第4の方で統一した方が良いのではないかと思います。</p>
東坂市長	<p>大変、繊細な気づきですね。ありがとうございます。 他にご意見いかがでしょうか。</p>
田中委員	<p>重点1の⑦ですが、教育フォーラム等が学力の向上だけに絞ってのフォーラムなのかというのが疑問です。学力向上だけに特化するの、どうかと思います。</p>
東坂市長	<p>これは、教育研究等のフォーラムの開催というのが誤解を生むのですが、教育研究フォーラムのことを指しているのではないですよ。事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>教育研究フォーラムのことも含んではございますが、「等の」と書いておりますので、教育研究に関する取組等についての、フォーラムであったり、催し物であったり、研修会であったり、そういうものでございます。</p>
東坂市長	<p>教育研究フォーラムは固有名詞であって、あのフォーラムそのものを指す文言で</p>

	<p>すが、ここでの表記は教育研究に関するフォーラムを随時開催し、学力向上に対して研究を進めましょうという意味合いだと思います。</p> <p>教育研究フォーラムの中でも学力向上に取り組むテーマもあり、教育環境、いじめの撲滅、安全、こういった様々なものに取り組むわけですが、教育研究フォーラムという固有名詞を指しているわけではないというところが、誤解を生むとするならば、「フォーラム開催等による教育研究の充実」などにすれば、誤解を排除できるかとは思いますが、趣旨はそのまま、文言の調整をお願いし、教育研究フォーラムの趣旨に限定するものではないということ、誤解を受けないようにだけ配慮をお願いしたいと思います。</p>
東坂市長	田中委員、それでよろしいでしょうか。
田中委員	はい。
水野委員	<p>重点2の①、いじめ・長欠不登校・体罰等への早期かつ適切な対応について、前回もご指摘させていただきましたが、いじめ・長欠不登校・体罰等が起こってから対応にならないか少し疑問に感じました。本当に、安全・安心であれば、そもそも予防していくような意味を含んでも良いのではないかと感じました。または、予防の意味も含んでこの表現なのでしょうか。</p>
東坂市長	事務局、今のご質問に対しての回答をお願いします。
事務局	<p>前回、ご指摘をいただいているところでございます。長欠不登校・いじめ・体罰等につきましては、早期の対応というのは当然のことながら、予兆があればその芽を摘むという意味も含めております。ただ、長欠や不登校は、起こってしまった後の事象を指すこともありますので、その点については「適切な対応」という表記をさせていただいております。結果的に「早期かつ適切な対応」という混ざり合ったような表現をさせていただいております。</p>
東坂市長	<p>水野委員のご指摘については、そのように感じられる方が多々いらっしゃるかと思います。その点については、大東市が常日頃から進めている、教職員が一丸となってアンテナを高く張り、そういったいじめ等々の子どもの環境の変化を迅速に察知するという趣旨を実施計画の中にしっかりと織り込んでいただくことで、ここでの誤解が払拭されることを望みたいと思います。</p> <p>水野委員よろしいでしょうか。</p>
水野委員	はい。

東坂市長	<p>最後に、ここに至るまでの意見の推移ですとか、構築の過程や、この議論の進め方などについて各委員にそれぞれご発言をいただいて、その後、この最終案についてのご意見をとりまとめたいと思います。</p> <p>よろしければ、水野委員の方からお願いいたします。</p>
水野委員	<p>私に関しましては、7月に教育委員を拝命いたしましたので、第2回総合教育会議から参加させていただきました。実際、教育大綱については、全国の色々な市町村のものを研究させていただきましたが、凄く短いものから、長すぎて市民が理解しにくいものまでございます。その中で、大東市の教育大綱がどのようなものになっていくのかというのは、一市民としても楽しみで、この会議にも参加させていただきました。</p> <p>細かい文言を指摘させていただきましたが、その部分を参酌していただき、ありがとうございます。特に、家庭教育、いじめ、長欠不登校、体罰等の文言に関しては、私もこだわりをもって意見をさせていただきましたが、この内容であれば、実施計画に結び付きやすいものになったと感じております。ですので、総合教育会議を大綱だけで終わらないようにと市長も仰っていましたが、正に私も同感でございます。次に重点大綱達成のための主な取組の中でどのような議論をしていくのか、そこを凄く楽しみにしている次第です。ありがとうございました。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございました。続いて、田中委員お願いします。</p>
田中委員	<p>長い間、本当にありがとうございました。分かり易くて、見易い大綱が出来上がったと思います。せつかくこのような良いものが出来上がりましたので、これを呼び込みとして、どう実施していくのか、これからが楽しみになっています。特に、重点1に学力の向上が出てきたというのは、凄く斬新だと感じておりまして、ここを大東市の子どもたちが向上できるように、私もまた頑張らないといけないと思いました。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございました。では、花田委員お願いします。</p>
花田委員	<p>ここまでのものを作っていただいたことに、敬意と感謝を申し上げたいと思います。この総合教育会議につきましては、今年度に入って大綱策定を目的として、始まったものですが、大東市ではすでに、市長と教育委員会との教育連絡会というものを開いておりました。それまでの教育連絡会の流れもあって、内容がはっきりと見えている、市長が自分がやると仰っていただいている、大綱ができたと思いますし、その策定に関わらせていただいたことを光栄に思っております。</p> <p>今後は、この大綱の内容を政策として下していくということになりますが、まだ予算のことなどもあろうかと思いますが、その点は一教育委員として、市長に願</p>

東坂市長	<p>いをしたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。最後に、亀岡教育長お願いします。</p>
亀岡教育長	<p>第1回目の時に、大綱をどうすべきかという議論をさせていただきました。通常 の他市に見られる教育大綱、例えば、学校教育であったり、社会教育であったり、 文化教育であったり、教育全般の教育大綱を策定されているところがほとんどだ と思います。その中であって、今年2月に学力向上強化プロジェクトチームを教育委 員会で立ち上げておりましたことから、今回、学校教育に特化した特色ある大東市 の教育大綱が出来上がったのではないかと思います。また、期間が5年ですので、 基本大綱、重点大綱、主な取組をいかに進めていくかという道筋ができてまいり ましたので、教育委員会としてもこれを受けて、実施計画の策定と、この大綱に沿 った行政運営をしなければならないという責務を、改めて感じているところでござ います。</p> <p>また、花田委員も仰いましたが、これまでの下地があったからこそ、この大綱が できたと思います。本当に良い大綱ができて、我々はこれをしっかりと活かすよう に教育委員会が頑張らなければならないと感じております。ありがとうございました。</p>
東坂市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日、最終案に対しての貴重なご意見・ご提案をいただきました。そ れを踏まえた修正をもって、正式な大綱の策定に繋げてまいりたいと思います。</p> <p>以上で、本日の議題を全て終了とさせていただきます。それでは、進行を事務局 の方でお願いいたします。</p>
事務局	<p>東坂市長ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、誠にありがとうございました。</p> <p>本大綱につきましては、今、議長からもございましたとおり、本日の意見を踏ま えて修正をさせていただきます。最終、市長に決裁をいただき、策定とさせてい ただきます。</p> <p>この大綱のPRにつきましては、広報誌をはじめといたしまして、ホームページ 等への掲載を活用し、ご報告させていただきます。</p> <p>また、この会議、第1回から第3回においては、教育大綱の策定を主な議題とい たしまして、議論いただいたところでございますが、市長や委員の皆様からも意見 をいただきましたように、大綱作りの会議とならないように、そして、大綱が出来 上がった上で、更なる教育施策の充実が図れるように、議論を今後も行っていただ ければと思っております。今後につきましても、重点的に講ずべき施策の協議につ きまして、積極的にご議論いただけるように、開催してまいりたいと思ってお</p>

すので、どうぞよろしく願いいたします。

また、今後もお気づきの点がございましたら、事務局までご連絡いただきますようご協力お願いいたします。

これをもちまして、第3回大東市総合教育会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

以 上

平成 28 年 1 月 22 日

大東市長

東坂 浩一

大東市教育委員会 教育長

亀岡 治義